

Fog2300(GF1853) / Fog2000 (GF1854)

およびインクジェット特注品 (HIGH GRAFICA フロストクリア)

特徴 : UV インクによる印刷を施したインクジェットのガラスフィルムです。

種別 : PET フィルム (ポリエステルフィルム)

選択上の注意

- 商品特性上、印刷部分にインクの凹凸がありラミネート加工ができませんので、一般的なガラスフィルムよりもキズがつきやすいです。
- 一度ついた折れキズは直らないため、運搬時や施工時（セパレーターを剥がす、商品を貼り付ける等）は慎重にお取り扱いください。
- 複数人（2名以上）での施工を推奨します。
- 室内用途専用商品です。屋外に面するガラスへの施工は避けてください。
- インクジェットを使用した商品のため1枚毎に色差があります。ジョイント施工はおすすめしません。

準備

- ガラス面の清掃を入念に行い、固く付着している汚れは、ガラススクレイパー（BB-340）を使って落としてください。
- チリ、ほこりが商品の粘着面や剥がしたセパレーター、ガラス面に付着しないように施工環境を整えてください。また複数名での施工を推奨します。
- 低温時は、接着力の低下や巻き癖が起きやすくなるため、現場やガラスを暖めてから施工してください。
- 端部に目盛りがあり、施工時に裁断をする必要があります。事前に裁断する際には十分なスペースを確保しチリやゴミが付着しないように注意してください。

施工方法

- フィルムからセパレーターを剥がしながら中性洗剤を混ぜた水溶液（以下、施工液）をフィルムの粘着面側に十分に噴霧します。剥がしたセパレーターは圧着時に使用するため、チリやほこりが付着しないようにご注意ください。次に施工液を噴霧したフィルムを、同じく施工液を十分に噴霧したガラス面に当て、位置決めを行います。パーテーションや窓枠より内側2mm程度が位置の目安です。施工液に使用する中性洗剤の濃度は0.1~0.2%が目安となりますが、温度や湿度などの現場環境に応じて適切に調整してください。
- 施工液をフィルム表面全体に万遍無く噴霧しながら、剥がしたセパレーターをフィルム表面全体にあてます。セパレーター表面にも施工液を噴霧してから専用スキージー（BB-343）で圧着し、中心より外側へ強くしごきながら水を押し出してください。セパレーターにチリやゴミが付着した状態で圧着するとキズの原因になります。特にフィルムからセパレーターを剥がした際に床に置くとチリやゴミが付着しますので施工液を噴霧しながら巻き取るように剥がしてください。
セパレーターの粘着面に接した側を表にしてスキージーをあてるとスキージーの滑りが良くなります。
- 圧着には専用スキージー（BB-343）をご使用ください。ゴム部分に破損や凹凸があるスキージーを使用すると、フィルム面のキズや圧着不足の原因となりますので、使用は避けてください。専用スキージー以外のヘラ等を使用した圧着は避けてください。

施工要領書

Fog2300(GF1853) / Fog2000 (GF1854)

およびインクジェット特注品 (HIGH GRAFICA フロストクリア)

仕上げの留意点

- 仕上げに水抜け不足の箇所や端部の処理をする際には、再度フィルム表面に施工液を噴霧し、セパレーターを表面にあてて専用スキージー (BB-343) で水を押し出してください。
- フィルム表面が乾いた状態でスキージーを使用するとゴム素材がフィルムの表面に残り、キズのように見える場合があります。フィルム表面とスキージーの接触を避けるために、剥がしたセパレーターをあてた上で、圧着することを推奨します。
- 表面の汚れが気になる場合は、再度施工液を噴霧し、水切りワイパーで水分を除去した後に、柔らかい布やマイクロファイバーでしっかりと拭き取ってください。
- フィルム表面を強く擦ったりキズをつけないように注意してください。インク剥がれ等の外観異常が生じる場合があります。
- 商品特性上、アルコールの使用は避けてください。インクの剥がれやツヤ変化などの外観異常が生じる場合があります。
- 施工後、フィルムに曇りや水泡が生じる場合がございます。水分が抜けることで徐々にきれいになりますが日当たりの悪い場所、気温の低い場合や多湿の場合などある程度日数がかかる場合がございます。